

奈良市環境基本計画市民ワークショップ第2回全体会議 会議録

<日 時> 平成22年10月29日(金) 午後7時～午後9時15分

<場 所> 奈良市役所 中央棟6階 第1研修室

<プログラム>

1. 会議進行説明など
2. 地球温暖化についての情報提供
3. 分科会テーマについて
 - (1) 分科会テーマの検討(グループワーク)
 - (2) 分科会テーマの決定(グループの発表及び全体協議)
4. その他

<会議資料>

- ①【資料1】第2回全体会議メニュー
- ②【資料2】地球温暖化について
- ③【資料3】分科会テーマ(案)
- ④【資料4】環境基本計画における環境の範囲
- ⑤分科会希望用紙
- ⑥第2回全体会議 ふりかえりシート
- ⑦【参考資料】施策の進捗状況調査結果(※事前配布)

<出席者>

【市民ワークショップ委員】出席27名(欠席6名)

池田敏泰、井上聡夫、岡本胤継、梶野博子、北浦由香、北端辰昭、河野元昭、小松弘子、島浩二、清水順子、瀬林傳、田川嘉隆、日月英昭、鶴保謙四郎、中川徹、橋本光男、船本知子、三宅明代、植本茂、中村真喜子、南垣内貞史、矢藤加寿子、石田美智男、岡野恵子、栗岡理子、黒飛啓、村木正義

【事務局】11名

環境政策課 高橋、桐山、新井、柴田、油谷、坂崎、村井、松本、南田、安宅、吉留

【コンサル】2名

株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所 大川直子
石田達也

<傍聴者>

3名

<会議の概要>

1. 会議進行説明など

- 司会（事務局 柴田）より、市民ワークショップのサポートを務める株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所2名の紹介。次いで、前回欠席された大阪ガス株式会社 中村委員の自己紹介。
- 事務局 新井より、事前配布した【参考資料】「施策の進捗状況調査結果」について説明。今後は、目標の数値化、見える化など色々な点で改善が必要と考える。この結果を踏まえ分科会では、各施策の担当課になるべく参加を要請し、現状や将来像について論議してもらおう材料として活用していただきたい。
- 司会より、本日の会議の流れについて説明（資料1）。

2. 地球温暖化についての情報提供

事務局 桐山より、地球温暖化についての情報を委員の皆様で共有していただくため、スライドを用いて説明。（資料2）

- ・世界の平均気温および平均海面水位の変化については近年になるほど加速してきている。
- ・地球温暖化が原因で、世界各地や身近で様々な事象が生じている。（氷河融解、海氷面積低下、サンゴ礁の白化、ミカンの浮皮症による品質低下、米の白未熟粒による品質低下、桜の開花日の早期化など）
- ・地球温暖化のプロセスについて説明。二酸化炭素などの温室効果ガスの増加により放出される熱が少なくなり地球の気温が上昇する。
- ・日本は世界で5番目に二酸化炭素を排出しており、一人当たりに換算すれば3番目にあたる。
- ・地球の平均気温は2000年から100年で何らかの手立てを打っても1.1℃上昇すると言われている。野放し状態にすれば上昇温度は6.4℃にもものぼる。
- ・日本の部門別二酸化炭素排出量の推移が産業部門で低下している。これは、企業の温暖化への取り組みの成果が現れている結果となっている。（不況だからではない。）又、業務および家庭部門で増加率がアップしており、これらの削減が重要である。

3. 分科会テーマについて

ジャパン総研、大川氏より本日のグループワークの流れについて説明。

- ・4つのグループに分かれ（受付時にくじ引き）、模造紙とふせんを使って、ブレインストーミングとKJ法により、分科会テーマの検討を行う。グループワーク終了後、各グループの発表を行い、全体協議により分科会テーマを決定する。
- ・【資料3】分科会のテーマ（案）は事務局の案、【資料4】は環境基本計画における環境の範囲を明示しているので参考にしていただけたらと思う。

【グループワークの流れ】

- ①リーダー（進行役）と発表者を決める。
- ②各々が考えた分科会テーマを各自ふせんに書き、模造紙に貼る。
- ③全員が貼ったふせんを、似たもの同士でグループ分けする。
- ④グループ分けしたものに共通する標題（テーマ）を決める。
- ⑤最終的に5つ程度のテーマを決定する。

※沢山出た場合は、重要度を加味して決定する。また、どうしても残った意見（テーマ）は欄外に残しておく。

（1）分科会テーマの検討（グループワーク）

4つのグループに分かれて、40分間グループワークを行い、分科会テーマを検討した。

⇒<グループワークの記録>参照

(2) 分科会テーマの決定(グループの発表及び全体協議)

以降、ジャパン総研 大川氏が進行。

【各グループの発表】

各グループの検討結果および経緯とグループワークで出された意見について、各グループの発表者が5分程度で発表した。

グループ1の発表

個別に考えるテーマをふせんに書き貼り付けていった結果、7つのテーマになった。

- 教育啓蒙……子供への教育、自治会と地域での教育、NPOなどもつかった教育等々、啓発も含めての教育。
 - 交通対策……環境に良い交通対策、体系。交通安全とサービス(電気自動車、歩道)など。
 - 生活環境……ごみやリサイクルの問題(家庭系でどうしていくか。)また、騒音や廃水をどうしていくかなど。
 - 歴史・景観
 - 自然環境
 - 歴史都市防災
- 歴史的な関係や防災や安全、自然的な環境(里山やため池、森林)など、いくつかの観点がある。
- 温暖化……各テーマで共通。温暖化全般に通じるものとして省エネ・創エネなどがある。それぞれの中で行っていく。

全体の目指すところとして、世界に発信出来るもの(トップランナー)を目標にしていく。

グループ2の発表

大きいテーマ、小さいテーマをアトランダムに出していただいた。最終的に現行の基本計画のように大きなテーマに分けるとすると、4つのテーマに分かれた。

- 歴史文化と自然を活かしたまちづくり
 - エネルギーの有効活用
 - 歴史教育(学習)の推進
 - 生活環境の保全・推進
- ・小さいテーマ、提案については事務局に熟読してもらい整理していただいたら良い。
(大きな目標、テーマに合わない面もあるが。)

グループ3の発表

5つのテーマ案が出た。

- 自然歴史……生物多様性、生態系の保全、歴史自然景観の保全など。
 - 環境教育……学生の指導もあるが、指導者の養成も行わなければならない。食農も。
 - 生活環境・3R……リサイクル、リユース、省エネなど。
 - エネルギー……バイオマス、クリーンエネルギーなど。
 - 都市環境……緑道、サイクリングロード、環境を核としたまちづくり。
- 「生活環境・3R」に「エネルギー」を加えるかという議論もあったが、バイオマスの関係やクリーンエネルギーなど色々なシステムを考えると別にするという事になった。

グループ4の発表

5つのテーマにまとまった。

- 地球温暖化対策……コンパクトシティというのがあるが、付帯的に重要なテーマとして残している。
- 循環型社会……3Rや自分達の地域の生ゴミなど足元からのエコロジー。
- 自然環境を守る……農地の保全。森林の保全。生物多様性など。
- まちづくり……世界遺産。都市と田舎の交流。主要なまちとの連携（世界の人だけでなく日本の中で主要な所と手を組んでリーダーシップを発揮する。）
- 環境教育……グリーンコンシューマーやITなど、環境教育の仕組み作りを考えていく。

【全体協議】

グループ1～グループ4からそれぞれ出されたテーマを、KJ法により、共通するもの、重なっているものなどで似たもの同士に分類分けし、話し合った結果、次の5つに分科会テーマが決定した。

- 環境教育
- 自然・歴史
- 生活環境
- 都市環境
- 地球温暖化対策

【質疑応答】

■循環型社会の取り扱いについて

- ・なぜ、生活環境と結び付けるのか。結び付けることに抵抗がある。法体系が違うのではないか。
- ・独立させることに反対。都市環境や生活環境のどちらとも結び付く。どちらに入れるのか。
⇒循環型社会については、法体系の話をすれば地球温暖化対策についても議論が及ぶ。また、3Rについても生活環境の中に含まれており、都市環境にも生活環境にも関わってくるので、循環型社会については今後両方の分科会で議論を行っていただきたい。

4. その他

事務局 村井より事務連絡。

- ・分科会希望用紙について

次回会議からは5つのテーマに分かれて分科会を開催する。配布している「分科会希望用紙」に名前、第一希望から第三希望までを記入し、受付の回収BOXに提出するよう説明。希望用紙及び、公募委員については応募時に記入いただいた関心分野を参考にし、事務局でメンバー分けを行い、次回分科会の開催通知に記載してお知らせする。できる限り第1希望の分科会に入ってもらいたいが、希望人数が多い場合は、第2、3希望の分科会になる場合もあるが了承願いたい。

- ・ふりかえりシートについて

本日のふりかえりシートは退出時に受付で提出していただくか、11月5日（金）必着でFAXまたは郵送で事務局へ提出。

委員の皆様の意見を聞かせてもらい、今後のより良い会議運営に役立てたいと考えている。

- ・次回開催予定

第1回分科会 11月11日（木）午後7時～ 市役所中央棟6階 正庁